

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

案 内 図



ボーリング柱状図

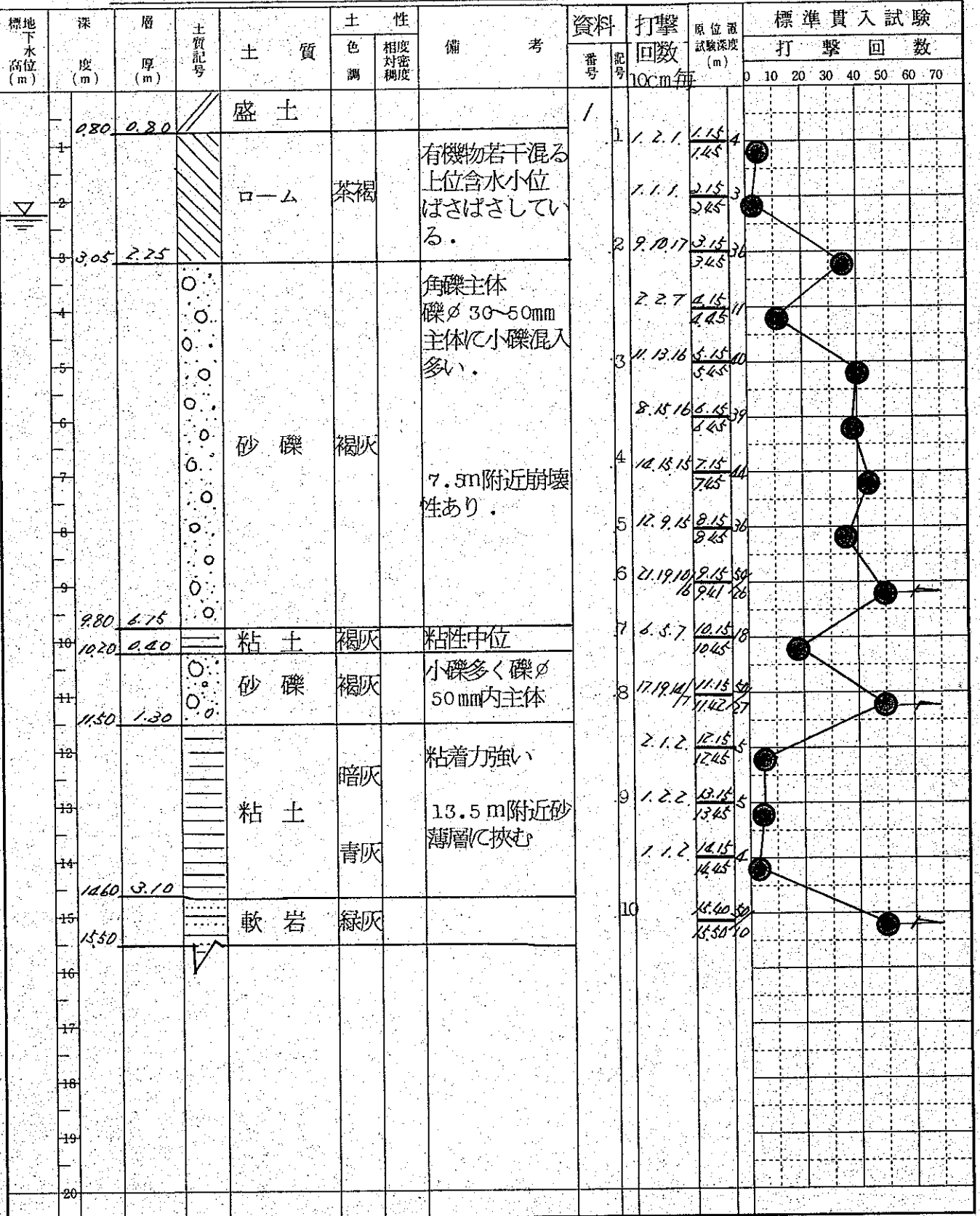
調査名 佐野女子高校体育館兼講堂新築工事 孔番 № 16/ 地盤高 -1.015 m

調査場所 栃木県佐野市金屋下/2 (基準面 KBM±0)

地 形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和58年6月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-3.35m 調査担当者 _____



ボーリング柱状図

調査名 砂野女子高校体育館兼講堂新築工事 孔番 № 16.2 地盤高 1.205 m

調査場所 栃木県佐野市金屋下/2 (基準面 KBM±0.0)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和58年6月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-3.60m

調査担当者 _____

標地下水位 高(m)	深 度(m)	層 厚(m)	土質記号	土質	土性		備考	資料 番号	打撃 回数 10cm毎	原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打撃回数								
					色調	相対密度					0	10	20	30	40	50	60	70	
	0.90	0.90	X	表土	暗灰		角礫混る上部埋土あり	2	1	1.15	7								
	1.70	0.80	v	腐植土	暗茶 褐灰		全体で細粒土混る		2	2.15	7								
	2.80	1.10	h	粘土	褐灰		粘着力大 下部礫介入あり		3	3.15	31								
▽			o				礫φ10mm内外の礫多い。 所々礫φ40~50mm点在 最大礫φ80mm内外。		4	4.15	38								
			o				6m附近より礫φ10~30mm程度の混入多い。		5	5.15	36								
			o						6	6.15	50								
			o						7	7.15	50								
			o	砂礫	褐灰				8	8.15	50								
			o						9	9.15	70								
			o						10	10.15	50								
			o				10m附近より礫φ10mm内外の混入主体。		11	11.15	50								
			o						12	12.15	50								
			o						13	13.15	50								
			o						14	14.15	50								
	15.50		/						15	15.40	50								

栃木県立佐野女子高等学校校舎配置図

体育館兼講堂新築工事地質調査位置図

◎ ボーリング地点

縮尺 1/1000

